

平成29年度事業報告

1 事業報告の概要

地域に開かれた、市民から必要とされる社会福祉協議会を目指し、これまで取り組んでまいりました住民参加、協働による地域に根差したボランティア育成事業、法人後見の受任、介護保険事業や総合支援事業を中心に、各福祉サービスの提供や相談支援事業等の充実に取り組んだ。

また、岩見沢市における福祉の現状と課題を把握、整理し、その課題を解決していくための取組方針として、「わがまちの社協がどのような福祉のまちづくりを目指しているか」を地域住民に明らかにするため、平成30年度から5年計画で岩見沢市社会福祉協議会地域福祉活動計画を策定した。

以下、平成29年度事業計画に沿った推進項目について報告します。

2 組織の強化と人材の育成

社会福祉協議会としての役割を果たし、安定的かつ持続的な財源の確保や将来を見据えた人材の育成を図り、地域福祉を専門的な視野で捉えるため、役職員が各種研修会や講習会に積極的に参加、受講できる環境づくり、体制づくりに取り組んだ。

【主要な取組】

- (1) 岩見沢市ボランティアセンターを所管する地域福祉系の職員体制の強化を図り、ボランティア活動のさらなる活発化を図った。
- (2) 子ども発達支援センターつみき園において、必要な人材を確保し、良質な療育と相談支援体制の充実を図った。
- (3) 役職員が各種研修会・講習会などに積極的に参加し、資質向上に努めるとともに、内部連絡会などを通じて職員間の共通意識を高め、スキルアップに努めた。
 - ・ケアマネ内部研修
 - ・ヘルパー内部研修
 - ・社協連絡会
 - ・空知管内社会福祉協議会連絡協議会理事会総会及び会長事務局長会議
 - ・新人職員マナー研修
 - ・生活福祉資金貸付事業研修会
 - ・全道市町村社協会長、事務局長研究協議会
 - ・空知地区社協職員連絡協議会運営委員会、研修交流会
 - ・全道新任社協職員研修会
 - ・岩見沢地区地域療育推進協議会
 - ・岩見沢市子育て支援推進会議
 - ・防災事務担当者会議
 - ・全道社協職員研究協議会
 - ・地域の絆と支え合い活動空知地区推進セミナー

- ・北海道主任介護支援専門員更新研修
- ・北海道高齢者虐待防止推進研修会
- ・北海道社会福祉大会
- ・教育研修「職場のメンタルヘルス」～気づきと対応～
- ・北海道地域福祉生活支援センター自立生活支援専門員、生活支援員研修会
- ・コミュニティーソーシャルワーク実践者養成研修
- ・南空知社会福祉協議会連絡会会長・事務局長会議
- ・管内社協介護保険事業等学習会
- ・全国社会福祉大会
- ・全道市町村社協事務局長連絡会議
- ・法人役員研修（社会福祉協議会）
- ・相談支援専門員従事者研修（現任）
- ・ボランティアコーディネーター資質向上研修会
- ・全道福祉の学習セミナー
- ・高齢者虐待防止ネットワーク会議に係る実務担当者会議
- ・高齢者、障がい者の権利擁護セミナー
- ・岩見沢市介護予防、日常生活支援総合事業説明会
- ・交通安全講習会
- ・空知管内社会福祉協議会会長、事務局長会議
- ・成年後見制度促進フォーラム
- ・法テラス札幌関係機関関連会議
- ・共同募金会事務担当者会議等に参加・受講し専門性の確保と資質向上に努めた。

（４）広報活動の充実

社協だより

紙面の一部をカラーとし、見やすく親しみの広報紙づくりに努めた。

全世帯に配付し、当会事業の理解と福祉情報等を広く周知した。

発行回数 年３回（７・１２・３月）

発行部数 各回 36,000 部

地域福祉の情報提供

ボランティアセンター広報紙「おもいあい」、北海道社会福祉協議会発行の各種刊行物、広報紙等をボランティア団体及び関係団体、各事業・講習会においても配布し、各福祉実践活動の紹介・啓発に努めた。

北海道社会福祉協議会発行の情報誌「明るい社会」及び福祉機関発行のパンフレットを全民生委員児童委員、理事・監事や関係機関に配付し、地域福祉をとりまく情報提供に努めた。

ホームページ・報道機関の活用

活動情報をより早く正確に多くの人々に発信するため、ホームページを活用し、法人運営状況の情報公開、各種研修会や講習会の開催にあたっていち早い情報提供に努めた。

また、各事業・行事の開催ごとに報道機関に取材を依頼し、市民周知に努めた。

会員の加入促進、共同募金の趣旨啓発

安定的かつ持続的な財源を確保するため、慶弔寄附等をはじめとする寄附について、市民の社会福祉に対する理解を得るとともに、会員の加入促進及び共同募金の趣旨啓発に努めた。

また、北海道共同募金会作成のピンバッチを利用し、財源確保に努めた。

内容		金額
香典返し寄附金	44 件	1,579,000 円
一般寄附金	35 件	475,900 円
一般会員（1 世帯年額 100 円 250 町会 26,742 世帯）		2,674,200 円
特別会員（1 口年額 5,000 円 46 団体 72 口）		360,000 円
賛助会員（1 口年額 1,000 円 355 人 522 口）		522,000 円
企業会員（1 口年額 10,000 円 35 社 39 口）		390,000 円
共同募金	一般募金（赤い羽根）	8,183,396 円
	歳末たすけあい	7,596,909 円

3 施設の適正な管理運営（岩見沢広域総合福祉センター）

地域福祉活動の拠点施設として活用されるよう、福祉・ボランティア団体等の利用者の利便性の高い運営に努めた。

また、利用者の安全性を確保するため、職員・利用者を対象にした消防避難訓練を実施するとともに、必要な施設の改修・修繕等を行い、施設の適正な管理に努めた。

（1）消防避難訓練等の実施

消防避難訓練 5 月 15 日、10 月 16 日

（2）開館時間及び休館日

開館時間 午前 9 時～午後 9 時まで

開館日数 335 日

休館日 毎月第 2・第 4 日曜日及び 12 月 29 日～翌年 1 月 3 日まで

（3）施設の改修・修繕

階段腰板（落下防止）取付工事

地下タンク油面指示計取替工事

床暖房配管改修工事

床暖房自動制御装置取替工事

2 階階段、ロビー網戸設置工事

ブラインドドライブコード修繕

(4) 年度別利用人員及び年度別年間使用料収入状況

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
利用人員	46,126 人	47,693 人	47,583 人
1日平均利用人数	137.3 人	142.4 人	142.0 人
使用料収入	970,810 円	1,140,960 円	975,620 円

(5) 年度別用途別利用数 (単位：件)

区分	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	有料	無料	有料	無料	有料	無料
会議	92	155	101	193	59	154
集会	5	15	3	13	5	18
講習	18	110	10	113	18	124
研修	52	53	28	59	31	64
例会	265	381	349	395	334	349
その他	47	465	41	479	37	604
小計	479	1,179	532	1,252	484	1,313
社協・町連 母子寡婦福祉会 更生保護サポートセンター	307	1,616	561	1,554	648	1,361
合計	3,581		3,899		3,806	

4 地域福祉の推進

地域の福祉課題・生活課題の解決に向けた福祉サービスの提供、ボランティアの養成及び地域のつながりを強める地域ふれあいサロンの普及を行い、地域活動の活性化を図り、福祉の推進に努めた。

(1) 地域福祉活動計画の策定

地域福祉活動計画策定に係るアンケートの実施及び地域生活福祉部会を4回開催し、地域住民、ボランティア、福祉団体、行政などと協働のもと、様々な福祉課題に対応するため、実践する具体的な地域福祉活動計画を策定した。

(2) 地域における権利擁護の推進

日常生活自立支援事業の実施（北海道社会福祉協議会委託事業）

認知症、知的障がい、精神障がい等により、判断能力が不十分で日常生活に支障のある方に対し、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等の支援を行い、日常生活の自立支援に努めた。

(7) 利用契約者件数

区分	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計
相談件数	646件	189件	219件	4件	1058件
新規利用契約件数	2件	1件	1件	0件	4件
解約件数	6件	2件	0件	0件	8件
利用契約件数	6件	1件	5件	0件	12件
生活支援員数	26人(実働9人)				
社協預かり	通帳8冊・印鑑2本				

(1) 生活支援員研修交流会の開催

内容	実施日	出席者数
講義 「地域における精神、発達障がいがある方への生活支援について」 講師 社会福祉法人北海道社会福祉事業団 地域生活支援センターあ～ち 地域づくりコーディネーター 坂下 慎 氏 講話 「当事者の声 ～地域における日常生活を通して～」 講師 一般社団法人 らぶらす ゆうばり共生型ファーム 増井 涼平 氏 意見交換会「私たちの活動について語り合おう」	平成30年2月26日	11人

(ウ) 北海道地域福祉生活支援センター自立生活支援専門員・生活支援員研修会【空知地区】への出席

内容	実施日	出席者数
説明 「日常生活自立支援事業の概要と自立生活支援専門員および生活支援員に求められる業務について」 説明者 北海道社会福祉協議会 生活支援部 権利擁護課 分科会1 「自立生活支援専門員対象新システム操作伝達」 説明者 北海道社会福祉協議会 生活支援部 権利擁護課 分科会2 「生活支援員対象 情報交換会」 司会・進行 北海道社会福祉協議会 生活支援部 権利擁護課	平成29年9月19日	専門員 2人 生活 支援員 10人

市民後見推進事業・成年後見制度普及啓発事業の実施(岩見沢市委託事業)
 誰もが住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らせる地域づくりを目指すため、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が十分でない方が成年後見制度を適切に利用できるよう成年後見支援センターの安定的かつ適切な運営に努めた。

また、市民後見人の活動支援として法人後見事業を実施し、関係機関、

専門職、行政等との連携のもと、法人後見支援員と協働し、要支援者への適切な身上監護、財産管理を行った。

その他、市民の成年後見制度に対する理解や関心を高めるため、普及啓発に関する取り組みを行った。

【成年後見支援センターの具体的な取組】

(ア) 平成29年度相談・申立手続支援実績

相 談 状 況	新規相談	68 件	計 414 件
	継続相談	346 件	

相 談 内 容	法定後見	326 件	計 471 件
	任意後見	16 件	
	日常生活自立支援事業	36 件	
	相続・遺言	3 件	
	市長申立	43 件	
	介護・福祉サービスの手続き	6 件	
	財産管理	17 件	
	消費者被害	1 件	
	借金	2 件	
	その他	21 件	

(イ) 成年後見支援センター運営協議会・事例検討会の設置・開催

会議名	実施日
第1回成年後見支援センター運営協議会	平成29年7月5日
第1回成年後見支援センター事例検討会	平成29年7月5日
第2回成年後見支援センター事例検討会	平成29年8月31日
第3回成年後見支援センター事例検討会	平成29年12月18日

(ウ) 市民後見人の養成と活動支援

・市民後見人養成講座の開催

事業名	実施日	受講者数	修了者数
市民後見人養成講座 (基礎編)	平成29年10月14日～12月9日 毎週土曜日 全8日間	16人	10人
市民後見人養成講座 (フォローアップ編)	平成30年1月25日～2月15日 毎週木曜日 全4日間	8人	6人

・法人後見受任状況

対象者区分	年代	類型	申立人	居住環境	審判確定日
認知症	80代	後見	岩見沢市長	認知症グループホーム	平成29年2月17日
知的障害	60代	後見	親族	病院	平成29年2月22日
認知症	80代	保佐	本人	病院	平成29年11月9日
認知症	70代	保佐	本人	特別養護老人ホーム	平成29年12月14日
認知症	70代	後見	親族	認知症グループホーム	平成30年1月26日
認知症	90代	補助	本人	サービス付き高齢者向け住宅	平成30年2月10日
					計6件

・法人後見支援員の登録と活動状況

法人後見支援員登録者数	16人
法人後見支援員活動者数	12人
法人後見支援員活動延回数	48回
法人後見支援員活動延人数	96人

・法人後見支援員登録時研修会の開催

内容	実施日	出席者数
説明 「法人後見支援員の具体的な活動内容について」 説明者 岩見沢市成年後見支援センター相談支援員 意見交換	平成29年8月3日	8人

・第1回法人後見支援員研修会の開催

内容	実施日	出席者数
講義 「障害者虐待から学ぶ障害者と接する上での基本的態度、姿勢」 講師 社会福祉法人岩見沢清丘園 ワークつかさ事業所長 白戸 浩雅 氏 実践報告「市民後見人の実際」 報告者 法人後見支援員 樋爪 英捷 氏 法人後見支援員 建石 秀子 氏	平成29年8月3日	15人

・第2回法人後見支援員研修会・第2回生活支援員研修会の開催

内容	実施日	出席者数
説明 「岩見沢市成年後見支援センターの現状について」 説明者 岩見沢市成年後見支援センター相談支援員 講義 「よくわかる訪問記録の書き方 ～よりよい支援につなげるために～」 講師 日本医療大学 生涯学習センター 社会福祉通信課 専任教員 丸山 正三 氏	平成30年3月22日	法人後見支援員 13人 生活支援員 3人

(I) 普及啓発

・成年後見制度講演会の開催

日 時	平成 29 年 9 月 10 日 (土) 13 時 30 分 ~ 15 時 40 分
開催場所	岩見沢市民会館・文化センター「まなみーる」
内 容	落語 「後見爺さん～合点だ！笑って学ぼう成年後見制度～」 講師 落語家 桂 ひな太郎 師匠 成年後見談義「もっと知りたい！成年後見制度」 登壇者 司法書士 金山 靖 氏 登壇者 岩見沢市成年後見支援センター 相談支援員 清水 敬太 司会 落語家 桂 ひな太郎 師匠 説明 「平成 29 年度市民後見人養成講座のご案内」
参加者数	210 人

・出前講座講師対応（依頼テーマ：成年後見制度について等）

団体名	実施日	参加者数
脳いき GOGO サロン	平成 29 年 6 月 5 日	16 人
西町茜会	平成 29 年 6 月 6 日	30 人
栗沢サロン	平成 29 年 6 月 16 日	25 人
岩見沢市民生委員児童委員協議会第 4 方面	平成 29 年 6 月 16 日	22 人
岩見沢市老人クラブ連合会（岩見沢地区）	平成 29 年 9 月 8 日	50 人
岩見沢市手をつなぐ育成会	平成 29 年 9 月 13 日	19 人
岩見沢市老人クラブ連合会（北村地区）	平成 29 年 10 月 19 日	55 人
岩見沢市民生委員・児童委員協議会第 8・9 方面	平成 29 年 10 月 23 日	36 人
岩見沢市身体障がい者福祉協会・ 岩見沢市手をつなぐ育成会	平成 29 年 10 月 31 日	18 人
ボランティアサークル「ひとみの会」	平成 29 年 11 月 4 日	10 人
若松地区町会連絡協議会女性部	平成 29 年 11 月 15 日	27 人
岩見沢市老人クラブ連合会（栗沢地区）	平成 29 年 11 月 16 日	150 人
オープンサロンかっこう	平成 29 年 11 月 20 日	16 人
在宅介護ボランティア「輪っこの会」	平成 29 年 12 月 11 日	19 人
岩見沢市生活サポートセンターりんく	平成 30 年 2 月 21 日	10 人
計 15 か所		計 503 人

・その他周知啓発活動

実施事項	実施日等
成年後見支援センターパンフレット作成・配布	2,000 部
FM はまなすラジオ出演	平成 29 年 9 月 6 日 平成 29 年 10 月 6 日
フリーペーパー「これっと」成年後見支援センター記事掲載	平成 29 年 11 月号

- (オ) その他
・視察受入

受入先	受入日
深川市、深川市社会福祉協議会	平成 29 年 7 月 24 日
江別市社会福祉協議会	平成 29 年 7 月 27 日

(3) 住民主体の地域福祉の推進

小地域福祉ネットワーク事業の支援

小地域（ふれあい推進協議会・地区協議会等）を基盤として展開する地域住民の参加と協力による見守り、安否確認活動やゴミ出し、身の世話といった日常生活支援活動等に対して助成を行い、地域の支え合い活動の活性化に努めた。

助成金 2,993,760 円

地域福祉活動推進セミナーの開催

地域福祉活動関係者を対象に、冬季災害を想定した、避難所運営ゲーム北海道版（Doはぐ）の体験演習を行い、災害時における日頃からの心構えなどに対する理解を深めることで、地域住民の防災意識の向上及び地域福祉活動の促進に努めた。

3月9日 参加者 43人

地域ふれあいサロン事業の支援

- (ア) 地域ふれあいサロンの運営・設置について支援するとともに、サロン活動団体に対して助成を行い、地域における世代を超えた交流の場の普及に努めた。

登録サロン数及び助成金額

区分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
登録サロン数	24 団体	24 団体	21 団体	26 団体	29 団体
助成金額	962,000 円	578,000 円	414,000 円	588,000 円	682,000 円

平成 29 年度新規サロン団体（3 団体）

- ・朝日地域ふれ合いサロン
- ・東町 2・8 町内会いきいきサロン
- ・幌向脳はつらつ元気サロン

- (イ) 地域ふれあいサロン活動者情報交換会の開催

地域ふれあいサロン実践者を対象に、各サロン活動上の課題や活動内容について、情報交換・共有を図り、サロン活動に対する理解をより一層深めた。

10月27日 参加者 19人

- (ウ) 地域ふれあいサロン研修交流会の開催

サロン活動に関する講話や演習、グループ交流などを通して、サロン活動内容の充実と実践者同士のネットワークを構築し、今後の活動

の更なる活性化を図った。

2月16日 参加者 44人

地域福祉活動費助成事業の実施

町会・自治会単位で実施する地域福祉活動に対し、活動費の助成を行い、地域コミュニティ活動の促進を図った。

助成金 20,000円 緑町内会「独居高齢者安心安全事業」

地域除排雪活動支援事業の実施（岩見沢市委託事業）

自力で除雪が困難な独居高齢者世帯や身体障がい者世帯等の要援護者世帯に対し、地域のボランティアによる玄関間口の除排雪活動に助成支援を行い、地域における支え合い活動の充実を図り、冬期間における要援護者世帯の日常生活の安全確保に努めた。

対象世帯 1,342世帯 助成金 7,014,400円

レクリエーション用具貸出事業の実施

町会・自治会、ボランティア団体、ふれあいサロン活動団体等に紅白玉入れや童話かるた等のレクリエーション用具の貸出を行い、地域交流の促進、活性化を図った。

貸出件数 35件

地域福祉出前講座の実施

町会・自治会をはじめとする福祉団体等からの要望に沿って、当会職員等が講師となり「地域福祉出前講座」を実施し、地域住民の福祉に対する理解や関心を深めた。

出前件数 17件

内容 「地域ふれあいサロンについて」
「岩見沢市成年後見支援センターについて」外

認知症サポーター養成講座の開催

認知症への正しい理解を深め、地域の認知症高齢者を支えるサポーターの養成を図った。また、歩行機能改善や認知機能の低下予防が期待される、ふまねっと運動の体験教室を開催した。

12月12日 参加者 23人

社会福祉功労者表彰の実施及び推薦

当会顕彰規程に基づき、永年にわたり地域及びボランティア活動等にご尽力し、地域福祉の向上に寄与された個人及び団体をたたえ、表彰を行うとともに、活動を通じて社会福祉に貢献されている市内社会福祉関係者及び団体を、その功績から岩見沢市の福祉活動功労者表彰をはじめ、北海道社会福祉協議会会長表彰などへ推薦を行った。

(7) 岩見沢市社会福祉協議会 社会福祉関係功労者表彰 (敬称略)

功績表彰	善行感謝	ボランティア 功労賞	永年勤続表彰	功労表彰
特定非営利活動 法人ふらっと 吉野博子 菰生英夫 谷岡博士 中路美幸 前島英子 滝口洋子 水野向子 小関教子 中川真智子	棚田繁雄 湯佐義春 茗作将志 岡田博孝 須藤嘉明 山崎一幸 マルハ 岩見沢店 マルハ 岩見沢東店 石塚肇 小林克浩 森永健次 北本毅 竹内卓 古村宣雄 齋藤茂 伊藤保彦 花輪喜久男 幌向第23町内 くさかりたい 大野久子 前田郁子 美容室 のじり	梅谷真由美	森口 恵 本村千絵美 西原 亜由美 佐々木達生 保坂 育美 谷川かおる 生野美里 河合みどり 岡部 智子 関 勇太 名取 良子 松浦好恵 岡田更織 祐川春美 遠藤ひとみ 伊藤幸枝 福島厚司 小高和紀 高塚 学 米谷 卓 森本 ゆかり	中田高廣 大友敏幸 桃井正昭

10月31日 功績表彰(9人・1団体)・善行感謝(18人・3団体)
ボランティア功労賞(1人)・永年勤続表彰(21人)
功労表彰(3人)

- (イ) 北海道空知総合振興局長表彰
(社会福祉関係団体役職員功労・民生委員児童委員功労)
清水 ヨシ子・藤原 文男・向出 美保子・吉田 享・野田 静子
畑 孝子・内村 久美子
8月8日 地域の絆と支え合い活動空知地区推進セミナー席上
- (ウ) 北海道知事表彰
(社会事業関係功労者・民生委員児童委員)
松田 美羽音
(社会福祉事業団体関係者・共同募金運動奉仕団体)
岩見沢更生保護女性会
9月7日 北海道社会福祉大会席上
- (I) 北海道社会福祉協議会会長表彰
(社会福祉協議会役員功労)
清水 ヨシ子
(民生委員児童委員功労)
藤原 文男・向出 美保子・吉田 享・野田 静子・畑 孝子
内村 久美子

- 9月7日 北海道社会福祉大会席上
- (オ) 北海道共同募金会会長表彰(共同募金運動優秀団体)
鉄北老人クラブ・駒園親和会・北新町福寿会
- 9月7日 北海道社会福祉大会席上
- (カ) 北海道知事表彰(地域活動推進功労者)
若松地区町会連絡協議会「若松地域給食ボランティア」
- 10月27日 北海道庁赤れんが庁舎1階
- (キ) 全国社会福祉協議会会長表彰
(社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労)
高松 孝行・嵐 幸雄
- 11月22日 全国社会福祉大会席上
- (ク) 厚生労働大臣表彰(社会福祉事業関係団体功労者)
土田 繁雄
- 11月22日 全国社会福祉大会席上

(4) 高齢者等の生きがい・健康づくりの推進

高齢者趣味と教養・健康増進支援事業の実施

岩見沢市老人クラブ連合会が主催する各種事業に対し助成を行い、高齢者が個々の技能や趣味を活かした社会参加活動を通じ、仲間づくりや生きがいの場づくりを図られた。

5月20日 岩見沢市高齢者文化祭

助成金 30,000円 ステージ発表者 500人
作品展示品 409点

7月15日 岩見沢シニア交流大会

助成金 80,000円 参加者 870人

11月20日 囲碁・将棋大会

助成金 20,000円 参加者 44人

金婚祝賀会開催事業の実施(岩見沢市委託事業)

結婚生活50年を迎えるご夫婦を招待し、7月31日、岩見沢平安閣にて「第44回金婚を祝う会」を開催した。

該当者 179組 358人 出席者 86組と1人 計 173人

男性のための料理教室の開催

男性が「食」に興味をもち、自分で作る楽しさ、バランスのとれた食事の重要性と料理を通しての仲間づくり、家庭生活における自立支援を図った。

参加者 16人

(5) ボランティア活動の振興

ボランティアセンター運営事業

ボランティアセンターの運営強化のため、関係機関・団体との協力関係をより深めるとともに、市民から寄せられるボランティアに係る相談支援やボランティア派遣のコーディネート機能の充実に努めた。

また、ボランティア活動に関する市民の関心と理解を深めるため、情報誌やホームページ等を活用した情報発信を行い、ボランティア活動の促進に努めた。

運営委員会の開催（年3回）

運営部会の開催（随時）

定例会の開催（月1回）

(ア) ボランティア登録団体・個人数

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
登録団体数	27団体	25団体	27団体	26団体	27団体
登録個人数	8人	9人	10人	17人	14人

(イ) ボランティア相談・連絡

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
相談件数	23件	38件	27件	23件	19件
連絡調整件数	12件	10件	8件	14件	15件

(ウ) ボランティア派遣支援

車いす介助・視力障がい者介助・手話通訳等のボランティア派遣を行い、高齢者や障がい者、その家族の日常の負担軽減を図った。

派遣者 69人

(エ) ボランティアセンターに関する広報活動

ボランティアセンター広報部会による、ボランティアセンター広報紙「おもいあい」を発行し、市内の公共機関等に配布、配置し、ボランティア活動の情報発信等、ボランティア活動の周知啓発に努めた。

おもいあい 年3回発行（6月・10月・3月）

発行部数 各回 1,500部

(オ) 研修派遣事業

各種研修会等に参加し、ボランティアに係る先進的事例等の情報収集、研修、他のボランティア活動者との交流を深め、ボランティア活動の質的向上及びボランティアネットワークの促進を図った。

開催日	開催地	研修会等名	参加者
8月5日	札幌市	ボランティア愛ランド北海道 in さっぽろ	14人
11月10日	岩見沢市	空知地区ボランティア活動推進セミナー	56人
11月16日	札幌市	市町村ボランティアセンター運営協議会	1人
12月6日	札幌市	ボランティアコーディネーター資質向上研修会	1人
1月10日	札幌市	全道福祉の学習推進セミナー	4人

ボランティア活動者の発掘と育成

多様化するボランティアニーズに対し、ボランティア活動者の発掘と

資質向上を図るため、各養成講座、講習会を開催し、ボランティア活動者の底辺拡大と人材育成に努めた。

- (ア) 手話奉仕員養成講座の開催
聴覚障がいに対する理解促進と聴覚障がい者の社会参加、日常生活を援助する手話奉仕員の養成を行った。
昼の部 4月12日～12月6日(全34回)
受講者 16人 修了者 10人
夜の部 4月11日～12月5日(全34回)
受講者 14人 修了者 7人
- (イ) 傾聴ボランティア講座の開催
傾聴についての知識や技術、心構えを学び、傾聴に対する理解促進と地域や施設において活動する傾聴ボランティアの養成を行った。
5月25日～6月6日(全4回) 受講者 14人
- (ウ) 精神保健ボランティア講座の開催
精神障がいへの理解を深め、精神障がい者が豊かな地域生活を送ることができるよう、その橋渡し役としての精神保健ボランティアの養成を行った。
6月15日～6月22日(全2回) 受講者 6人
- (エ) ボランティア活動者交流会の開催
ボランティアセンター登録団体及び個人活動者の情報交換、交流を通し、様々な分野でのボランティア活動の状況を把握し、今後の活動のネットワークづくりを図った。
6月27日 参加者 104人
- (オ) やさしい在宅介護講習会の開催
在宅介護に係る講話や一般的な介護方法等について演習等を行い、家庭や地域で孤立することなく豊かな生活を送るための一助として、介護知識・技術の向上及び在宅で介護に取り組む方々の日常の悩みや負担の軽減に努めた。
10月17日～24日(全2回) 受講者 19人
- (カ) はじめてのボランティア講座の開催(新規)
ボランティア活動に興味・関心がある方、ボランティア活動を始めたいと考えている方を対象に、ボランティア活動に対する基本的な知識や車いす介助体験演習を行い、ボランティアの人材発掘に努めた。
11月1日 受講者 13人
- (キ) 視覚障がい者支援講習会「朗読録音ボランティア講座」の開催
視覚障がい者に対する理解と朗読についての知識と技術等を学習し、視覚障がい者を支援する朗読録音ボランティアの人材育成を図った。

11月17日～12月1日(全3回) 受講者 6人

(ク) ボランティア活動者研修会の開催

ボランティア活動者が一堂に会し、地域に根付いたボランティア活動のあり方を学び、スキルアップを図り、今後のボランティア活動の充実に役立てた。

2月26日 受講者 66人

ボランティア団体・福祉団体活動支援事業

(ア) ボランティア団体・福祉団体活動への支援

ボランティア団体・福祉団体の育成や活動の活性化を図るため、活動費の助成、ボランティア活動保険の助成、情報提供、貸室利用料の減免等、ボランティア活動及び障がいのある方の社会参画を図った。

ボランティア団体助成	18 団体	173,000 円
福祉団体助成	8 団体	260,000 円

(イ) ボランティア活動保険等の加入促進

登録ボランティア団体・個人が安心して活動するために、全社協「ボランティア活動保険」の加入促進と保険料の助成を行った。

また、当会除雪ボランティア活動者や被災地支援ボランティア活動者に対して、保険料の助成を行い、ボランティア活動の促進を図った。

ボランティア活動保険 個人 52人(一般18人・災害1人・除雪33人)

27 団体(494人)

ボランティア行事用保険 2 団体(100人)

除雪ボランティア派遣事業の実施

自力で除雪が困難かつ家族や親類及び町会・自治会からの協力が得られない要援護者世帯に対して除雪ボランティアを派遣し、間口の幅や暖房器具の給排気筒等付近の除雪支援を行い、日常生活の安全確保に努めた。

登録数 個人 2人・4 団体(84人)

支援世帯数 延 33 件・活動者数 延 92 人

災害ボランティア体制の構築

当会災害ボランティア現地対策本部における各班の責任者及び担当職員の配置を行い、災害発生時に速やかに災害ボランティアを受入れる体制を整えた。

また、北海道内において災害等により被害を受けた地域の市町村社協の救援活動を迅速に支援するために、北海道社会福祉協議会と「災害救援活動の支援に関する協定」を締結し、災害支援における全道的なつながりの構築を強化した。

協定締結日 平成 30 年 3 月 23 日

(6) 福祉教育の推進

福祉教育推進事業

(ア) 小・中・高等学校のボランティア活動への支援

小・中・高等学校の児童・生徒の社会福祉への関心と理解を高め、実践活動によりボランティアの心と社会連携の精神を養うことを目的に、各学校に対し福祉教育のボランティア活動実践活動費の助成を行った。

また、道社協が実施している学童・生徒のボランティア活動普及事業の協力校として、北村中学校、栗沢中学校、岩見沢西高等学校が再指定を受けた。

小・中・高等学校 23校 助成金 575,000円

(イ) 児童・生徒のボランティア体験研修会の開催

中・高等学校の生徒を対象に、障がい当事者やボランティア活動者をはじめ様々な分野で活動している地域活動者との協働の機会を創出し、ボランティア意識の醸成に努めた。

平成29年度は、「観光と福祉」をテーマに、車いす利用者、視力障がい者、高齢者などが来やすいまちについて観光プランづくりを行い、障がい者や高齢者に対する思いやりの心の育成を図った。

8月10日 参加者 53人

地域福祉教育推進事業の実施

学校からの福祉体験学習の要請に応じ、障がい当事者及びボランティアを講師として派遣し、効果的な学習を実施することで、ノーマライゼーションの理念普及に努めた。

また、当会で作成した福祉体験学習の相談から実施までの流れがわかる「福祉体験学習メニュー表」を配付し、学校における福祉体験学習の取組みへの普及啓発に努めた。

派遣人数 118人

【福祉体験学習実施状況】

	実施日	学校名	学年・人数	実施内容
1	9月5日	北真小学校	5年生 12人	視覚障がい者の講話・ガイドヘルプ体験
2	9月14日	北真小学校	5年生 12人	車いす利用者との交流・車いす体験
3	9月21日	月形小学校	3年生 18人	聴覚障がい者の講話・手話体験
4	9月26日	第一小学校	3年生 75人	聴覚障がい者の講話・手話体験
5	9月28日	日の出小学校	3年生 67人	視覚障がい者の講話・ガイドヘルプ体験
6	10月3日	中央小学校	3年生 46人	視覚障がい者の講話・ガイドヘルプ体験
7	10月6日	美流渡中学校	全校生徒 12人	聴覚障がい者の講話・手話体験
8	10月10日	中央小学校	3年生 46人	高齢者疑似体験
9	10月12日	中央小学校	4年生 57人	聴覚障がい者の講話・手話体験
10	10月19日	西高等学校	3年生 39人	聴覚障がい者の講話・手話体験
11	10月27日	上幌向中学校	3年生 22人	車いす利用者との交流・車いす体験

12	11月2日	北真小学校	6年生 19人	高齢者疑似体験
13	11月9日	日の出小学校	4年生 69人	車いす利用者との交流・車いす体験
14	11月14日	栗沢小学校	2年生 23人	視覚障がい者の講話・ガイドヘルプ体験
			3年生 29人	聴覚障がい者の講話・手話体験
15	11月28日	緑中学校	全校生徒 253人	聴覚障がい者の講話・手話体験
16	12月5日	日の出小学校	2年生 53人	聴覚障がい者の講話・手話体験
17	12月7日	日の出小学校	6年生 71人	視覚障がい者の講話・点訳体験
18	2月6日	岩見沢小学校	4年生 60人	車いす利用者との交流・車いす体験
19	2月8日	第二小学校	4年生 21人	聴覚障がい者の講話・手話体験
20	2月14日	第二小学校	4年生 21人	高齢者疑似体験
21	2月19日	第二小学校	6年生 24人	高齢者疑似体験
22	2月22日	第一小学校	4年生 70人	視覚障がい者の講話・ガイドヘルプ体験
23	3月6日	メープル小学校	1年生 7人	聴覚障がい者の講話・手話体験
合計		23校	1,126人	

指定地域福祉教育セミナーの開催

指定校のボランティア担当教諭とボランティア関係者や福祉・教育関係者等を対象に、専門的な講師による講話や学校におけるボランティア活動実践発表等を通じ、今後の福祉体験学習やボランティア活動展開の充実を図った。

11月21日 参加者 15人

実践発表者 岩見沢市立志文小学校
岩見沢市立明成中学校

高等学校の生徒を中心としたボランティア活動への支援や協力

農業高校ボランティア・ユネスコ部、緑陵高校ボランティア部、東高校ボランティア部、西高等学校生徒会執行部、高等養護学校生徒会執行部の5高校の生徒が行う「第6回復興支援東北の物産販売高校生プロジェクト in 岩見沢」の企画、金銭管理、助言などの協力を行い、高校生のボランティア活動、社会参加活動についての取組みを支援した。

8月8日 札幌地下歩行空間

8月27日 大和タウンプラザ

9月16日～18日 ふるさと百餅祭り

寄附金額 530,450円

(7) 生活困窮者等への支援

生活福祉資金貸付事業の実施（北海道社会福祉協議会委託事業）

他の貸付制度を利用できない、低所得者世帯や障がい者、高齢者世帯等を対象に、民生委員児童委員と連携し、必要な資金の貸付と相談支援を行うとともに、生活サポートセンターりんく等の関係機関と連携を図り、生活困窮者世帯の経済的自立と生活意欲の助長促進を図った。

貸付件数及び貸付金額

資金名	資金種類	件数	貸付金額
福祉資金	福祉費 その他経費	1件	86,000円
	福祉費 冠婚葬祭経費	1件	392,000円
	緊急小口資金	4件	400,000円
教育支援資金	就学支度費	2件	630,000円
	教育支援費	1件	864,000円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1件	3,794,000円
合計		10件	6,166,000円

愛情銀行緊急生活費の交付

生活福祉資金貸付制度の貸付要件に合致せず、やむを得ない事情により緊急に生活費が不足した方に緊急生活費の貸付支援を行った。

4件 25,000円

法外援護事業への支援

生活保護申請から決定までの生活つなぎ資金及び金銭不所持者等の送還旅費について、岩見沢市福祉事務所を通じて貸付及び交付を行った。

生活つなぎ資金 138件 1,837,000円

送還旅費 11件 16,840円

(8) 相談支援体制の充実

心配ごと相談事業の実施

民生委員児童委員に「ふれあい相談員」を委嘱し、地域の身近な「相談窓口」として、相談支援の充実を図った。

また、地域の方々が気軽に相談できるよう、市内各所で移動心配ごと相談所を開設し、日常生活における心配ごとの解決や軽減、専門機関等への橋渡しを行い、心配ごとの早期解消に努めた。

移動心配ごと相談所開設 6回 相談件数 2件

(9) 日常福祉用具の助成・物品貸出事業

愛情銀行運営事業

日常生活を営む上で、生活用具が必要と認められた方に交付及び助成を行った。

また、市民の温かい善意と思いやりによる金品の寄附及び預託を受け、真に必要な方々への交付提供を行った。 別紙資料

杖助成 15人

アイスピック助成 9人

車椅子の貸出

傷病等の理由により一時的に車椅子が必要になった方や、彩花まつり、ふるさと百餅祭り等のイベントに車椅子を貸出し、日常生活の向上や社

会参加の促進、在宅介護への負担軽減に努めた。

また、小・中・高等学校の福祉体験学習にも貸出しを行い、効果的な福祉教育に活用した。

車椅子貸出状況

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
件数	76 件	119 件	112 件	106 件	112 件
台数	183 台	233 台	222 台	232 台	180 台

5 福祉サービス事業の推進

当会が設置している居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業、相談支援事業、障がい児通所支援事業について、新規利用者を積極的に開拓するなど、利用者増に向けて努力し、介護報酬の改定による影響を最小限に抑えるとともに、関係法令を遵守した適正な運営を行い、また、利用者が安心して満足できるサービスを受けることができるよう、各サービスの質的向上と職員の資質向上に努めた。

近年増加している高齢者虐待ケース等の困難な事例についても、地域包括支援センターや保健所等関係機関と連携し、積極的な相談支援を行った。

また、発達に遅れや障がいのある子どもについては、幼児期の検診時における早期発見を目指し、市教育委員会子ども課、学校、幼稚園、保育所との連携を密にしながら適切な療育の提供を行い、子どもの健全育成に努めた。

(1) 居宅介護支援事業

要支援・要介護認定者の居宅サービス計画書（ケアプラン）を作成し、利用者の意向に沿って自立した在宅生活が続けていけるよう介護サービスの調整に努めた。

	平成 28 年度	平成 29 年度
要介護ケアプラン作成数	3,200 人	3,043 人
予防プラン作成数	802 人	904 人
要介護ケアプラン月平均作成数	266.6 人	253.6 人
予防プラン月平均作成数	66.8 人	75.3 人

(2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

訪問介護事業・介護予防・日常生活支援総合事業

日常生活に支障のある高齢者等に対し、介護保険による居宅介護サービス計画に基づき訪問介護員を派遣し、身体介護、生活援助等必要なサービスを提供し、自立した生活支援に努めた。

	平成 28 年度	平成 29 年度
利用者数	1,244 人	1,251 人
延利用回数	10,579 回	9,893 回
月平均利用人数	103.7 人	104.3 人
月平均利用回数	882 回	884 回

居宅介護事業（ヘルパー派遣）

日常生活に支援が必要な身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者に対し、障がい者総合支援法によるサービス利用計画に基づき、居宅介護従事者を派遣し、身体介護、家事援助等を通じて在宅福祉サービスを提供し、自立した生活支援に努めた。

	平成 28 年度	平成 29 年度
延利用者数	358 人	373 人
延利用回数	2,571 回	2,688 回
月平均利用人数	29.8 人	31.1 人
月平均利用回数	214.3 人	224.0 人

相談支援事業（訪問介護課・つみき園）

障がい者（児）の抱える課題解決や適切な福祉サービス利用の効果的な資源の紹介をし、サービスが有効に利用されているかを継続的に評価、見直しを行った。

適切なサービスに向けて、相談支援専門員がケアマネジメントにより、サービス利用計画及びモニタリングを行い障がい者（児）の自立した日常生活や社会生活への支援に努めた。

		平成 28 年度	平成 29 年度
障がい者	利用計画	151 件	150 件
	月平均	12.5 件	12.5 件
	モニタリング	251 件	270 件
	月平均	20.9 人	22.5 人
障がい児	利用計画	228 件	159 件
	月平均	19 件	13 件
	モニタリング	52 件	92 件
	月平均	4.3 件	4.3 件

（3）通所介護事業

地域包括ケアシステムの構築が進められ、これまでの予防通所介護は「介護予防・日常生活支援総合事業」となり、小規模な美流渡デイサービスは「地域密着型通所介護」へと移行された中で、利用者個々の身体状況や生活環境を的確に把握するとともに、民間事業者の参入が期待できない地域に配慮したサービスの提供に心がけ、利用者の満足度が高められるように努めた。

栗沢デイサービスセンター・美流渡デイサービスセンター

栗沢デイサービスセンターでは、認知症高齢者や重度の要介護者等へ、心身機能に係る個別的サービスとして在宅生活に直結する生活行為の訓練を実施した。

また、家族が一時的に介護から解放され休息が取れる支援（レスパイトケア）に努めてきた。

美流渡デイサービスセンターでは、生活に係る個別的なサービスを実施し、日常生活機能維持・向上を兼ねたショッピングや移動販売の利用

等、利用者のニーズ対応に努めた。

また、地域（南地区）の要支援利用者の増加に伴い、南地区地域包括支援センター等の関係機関と情報の共有や連携を図り、地域の実情に合わせた支援やサービスが出来る、サステナブル（持続可能）体制に配慮し、受入れを実践した。

栗沢デイサービスセンター

営業日数（月曜日～金曜日）257日（土曜日）53日

通所利用者数延（月曜日～金曜日）5,135人（土曜日）803人

1日平均利用者数（月曜日～金曜日）20.0人（土曜日）15.2人

職員配置数（月曜日～金曜日）9人（土曜日）6人

美流渡デイサービスセンター

営業日数（月曜日、水曜日、金曜日）138日

通所利用者数延 697人

1日平均利用者数 5.1人

職員配置数 3人

（４）子ども発達支援センターつみき園

通所支援事業（児童発達支援事業・放課後等デイサービス）の実施
発達に遅れや障がいのある乳幼児・児童に対し、定期的な通園を通して、基本動作の習得や日常生活に必要なとされる能力の発達を促すことを目的に、きめ細やかな療育支援提供の充実に努めた。

登録児数 148人

児童発達支援事業 利用者数 延 3,142人（一日平均 14人）

放課後等デイサービス 利用者数 延 204人（一日平均 0.9人）

合計利用者数延 3,346人（一日平均 14.9人）

子ども発達支援センター事業（岩見沢市委託事業）

発達に遅れや心配のある乳幼児・児童やその保護者が、日常的に適切な相談指導や療育を受ける事が出来るよう、関係機関への情報提供、地域の発達支援に関わる事業の協力を通して地域の発達体制の充実に努めた。

関係機関連携数 49機関

発達支援に関する相談件数（延件数）

つみき園通園幼児 454件

つみき園未通園幼児 403件

つみき園通園学齢 39件

つみき園未通園学齢 9件

合計 905件

6 後援・共催・協賛

事業の後援・共催・協賛により、社会福祉協議会の趣旨普及に努めた。

(1) 後援

行事名等	開催日
まちなか朝市	6月24日 8月25・26日 9月16日 10月7日
第3回アダスポ!岩見沢	7月1日
劇団カップ座 等身大ぬいぐるみ人形劇「つるのおんがえし」	8月26日
第17回ふれあい健康まつり	9月9日
いきいき健康フェア	9月16日
健康と福祉を高めるセミナー	10月6日
第51回北家連全道大会兼第18回空知地域精神障がい者家族大会	10月14日
「民生委員制度創設100周年記念」空知管内地方研究集会	10月20日
平成29年度北海道介護ロボット普及推進事業 医療・介護ロボット・医療機器・調剤機器展示会 in いわみざわ	30年2月10日
第71回花まつり	30年5月12日
ドクターカタリアと笑おう!「笑いとリズムで命の輝き in 岩見沢」	30年5月30日
劇団カップ座 等身大ぬいぐるみ人形劇	30年8月11日

(2) 共催

行事名等	開催日
やさしい精神保健基礎講座	9月9・13・20・ 27日 10月4日

(3) 協賛

行事名等	開催日
第32回いわみざわ健康まつり	10月1日

7 指定管理者制度による管理受託施設利用状況

指定管理者制度による受託施設(岩見沢市高齢者福祉センターふれあい、岩見沢市栗沢福祉団体活動センター、栗沢・美流渡デイサービスセンター)について、利用者のニーズに応じた円滑な運営と安全管理の徹底に努めた。

(1) 岩見沢市高齢者福祉センターふれあい

受託日	平成26年4月1日
開館日	月曜日～土曜日まで
開館日数	293日
利用時間帯	午前9時～午後5時まで(入浴時間は正午から午後3時まで)

平成 29 年度利用者数

区 分	一般		部会等		合計	
利 用 人 数	20,214 人		19,799 人		40,013 人	
男女別利用人数	男性	11,199 人	男性	9,884 人	男性	21,083 人
	女性	9,015 人	女性	9,915 人	女性	18,930 人
1 日 平 均	68.9 人		67.5 人		136.5 人	

平成 29 年度趣味と教養部会利用状況

部会名	利用回数	利用人数	部会名	利用回数	利用人数
カラオケ部会	39 回	2,780 人	太鼓部会	41 回	317 人
民謡・伴奏部会	34 回	262 人	民謡踊部会	46 回	779 人
俳句部会	11 回	61 人	華道部会	17 回	198 人
ひゃっぴーサークル	19 回	90 人	コスモスの会	8 回	30 人
卓球部会	49 回	2,857 人	ふまねっと部会	23 回	277 人
書道部会	47 回	461 人	こぶしクラブ	49 回	868 人
詩吟部会	6 回	27 人	いきいきサークル	5 回	52 人
手芸部会	40 回	309 人	陶芸部会	185 回	3,402 人
木彫部会	41 回	235 人	囲碁同好会	242 回	3,603 人
剣詩舞吟遊会	24 回	188 人	将棋愛好会	242 回	2,021 人
ダンス部会	42 回	582 人	小 計	1,254 回	19,625 人
茶道部会	23 回	164 人	オモチャの病院	48 回	139 人
謡吟会	21 回	62 人			
合計				1,302 回	19,764 人

主な行事

(ア)趣味と教養部会

内容	発表部会数	展示数・発表数	人数
展示発表	6 部会	322 点	
舞台発表	7 部会	24 演題	359 人
呈茶席			100 人
ふまねっと体験教室			27 人
合計			486 人

(イ)その他

行事名	開催年月日	参加人数
土曜初心者陶芸教室	5, 6, 9 月	延 16 人
ビデオ映画上映会	5, 6, 7, 9, 10, 11, 1, 3 月	延 90 人
健康相談	5, 9, 2 月	延 121 人
ふれあいコンサート・カラオケの集い	5, 6, 7, 9, 10, 11, 1, 3 月	延 178 人
高齢者福祉センター「ふれあいまつり」	8 月 5 日	500 人
移動心配ごと相談所	8 月 23 日	1 人
センター大掃除	12 月 8 日	111 人
お楽しみ会	12 月 16 日	54 人
市老連女性部軽いリズム体操	2 月 2 日	6 人

(2) 岩見沢市栗沢福祉団体活動センター

受 託 日	平成 26 年 4 月 1 日
営 業 日	月曜日～金曜日まで(祝日を除く)
開館日数	244 日
時 間	8 時 30 分～17 時 15 分まで

利用人数	年間 2,288 人 1 日平均 9.3 人
職員配置	嘱託職員 1 人(支所業務と兼務)
利用団体	<ul style="list-style-type: none">・ 栗沢更生保護女性会・ 岩見沢市老人クラブ連合会栗沢地区協議会・ いちいの会・ すみれの会・ 補修ボランティア・ 岩見沢市赤十字奉仕団 29 班 計 6 団体

(3) 栗沢・美流渡デイサービスセンター

名 称	栗沢デイサービスセンター				美流渡デイサービスセンター	
受託日	平成26年4月1日				平成26年4月1日	
区 分	指定通所介護・指定介護予防通所 【通常規模型】・一般型				指定通所介護・指定介護予防通所 【小規模型】・一般型	
定 員	月～金曜日 30人(1単位目) 土曜日 20人(2単位目)				1日 8人	
利用人数		年 間	月～金	土		
	営業日数	310日	257日	53日	営業日数	138日
	実人数	768人			実人数	116人
	延人数	5,938人	5,135人	803人	延人数	697人
	1日平均		20.0人	15.2人	1日平均	5.1人
職員登録人数	管理者(兼務) 1人 生活相談員 3人 介護員 2人 臨時介護員 10人 パート看護師 3人 運転手 1人				管理者(兼務) 1人 生活相談員 1人 臨時介護員 3人 パート看護婦 2人	
サービス提供時間帯配置基準	月～金曜日 職員配置基準9人 土曜日 職員配置基準6人				職員配置基準3人	
営業日	月曜日から土曜日(祝日を含む) (日曜日及び12月31日から1月3日まで休業)				月曜日から金曜日(祝日を除く) (土・日曜及び12月31日から1月5日まで休業)	
時 間	8時30分から17時45分まで 【提供時間帯】 9時15分～16時30分の7.25時間				8時30分から17時45分まで 【提供時間帯】 9時45分～15時15分の5.5時間	
介護内容	日常生活上の援助 (排泄の介助、移動の介助、その他必要な身体介護) 入浴の介護、機能訓練、送迎、食事の介助、相談・助言、 介護の指導、運動機能向上訓練					
利用料	介護報酬の告示額による ・法定代理受領分(国保連合会) ・法定代理受領分以外(個人負担)					
その他の費用	食費(1回につき590円)、行事食(1回につき640円) お茶・おやつ代(1回につき100円) オムツ代(実費)、その他通常必要なもの					
区 域	岩見沢市全域				岩見沢市の一部地域 (朝日町、奈良町、毛陽町、 栗沢町美流渡、栗沢町万字)	

